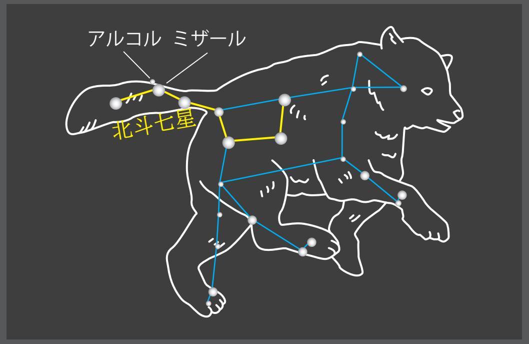
星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

2026 **4**

おおぐま座



花の便りが届く４月、北の空の高いところでひときわ存在感を放っている星座が「おおぐま座」です。この星座は、紀元二世紀にギリシャの天文学者プトレマイオスが定めた 48 の星座の一つに数えられていますが、その星座の一部である「北斗七星」は、古くから世界中でさまざまな姿に見立てられてきました。

興味深いことに、北斗七星を大きなクマの姿と見る文化がある一方で、「車」として捉える民族も数多く存在しました。例えばバビロニアでは「荷車」、エジプトでは「オシリスの車」と呼ばれ、イギリスでは「アーサー王の車」、北欧では「オーディンの車」といった具合です。お隣の中国でも、北斗七星を天帝が乗る「帝車（ていしゃ）」と見なす考え方がありました。こうして見ると、あのひしゃくの形は、クマの体というよりも、車輪のついた車台が北の空を巡っている様子をイメージした方が、当時の人々にとっては分かりやすかったのかもしれません。

北斗七星は、おおぐま座の胴体と長い尻尾を形づくる一部に過ぎませんが、その尻尾の先から二番目にある「ミザール」という星をじっくり観察してみてください。すぐそばに「アルコル」という小さな星が寄り添っています。これは二重星と呼ばれ、昔のアラビアでは兵士の視力検査に使われていたという有名なエピソードがあります。

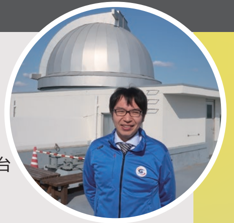
画像：キーテクノロジーぐんま天文台が提供する画像を加工

４月の夜空は、これら「車」や「クマ」を探す絶好のチャンスです。北斗七星を見つけたら、ひしゃくの先端にある二つの星を結び、それを五倍ほど先へ伸ばしてみましょう。そこには、真北の目印である「北極星」が見つかります。おおぐま座は、私たちが夜空で迷わないための大切な道しるべにもなっているのです。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）

今月の見どころ星どころ

春の大曲線



文・浜松市天文台
村松 大河

新年度が始まり、夜風の中にも花の香りが混じる季節になりました。今月は、春の夜空を歩くための大きな道しるべ「春の大曲線」をご紹介します。

まずは、頭高くに見える北斗七星を探してみてください。そのひしゃくの柄のカーブを、そのまま後ろへ滑らかに伸ばしていきます。すると、まずオレンジ色に輝くうしかい座の「アークトゥルス」に行き当たり、さらに伸ばすと真珠のように白く光るおとめ座の「スピカ」へとたどり着きます。この空を大きく横断するようなダイナミックな曲線が、春の大曲線です。

日本では古くから、この時期に輝くアークトゥルスを「麦星」と呼び名で親しまれてきました。麦秋の６月の麦刈りのはじまるころ、頭上に輝いていたからだそうです。星座の一つひとつを完璧に覚えるのは少し難しいものですが、明るい星同士を空に描くように指で結び、大きな曲線の並び、自然の不思議や美しさを感じながら、空を見上げる時間は、私たちに季節の移ろいを静かに教えてくれます。星座の境界線にとらわれず、まずはこうした大きな星の並びをたよりに、宇宙の広がりを体感してみてください。

4 月 午後 8 時頃

４月の夜はまだ冷え込むこともあります。新年度の忙しさから少し抜け出し、温かい飲み物でも用意して、静かな夜空にゆったりと大きな曲線を描いてみませんか。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）

星空クイズ

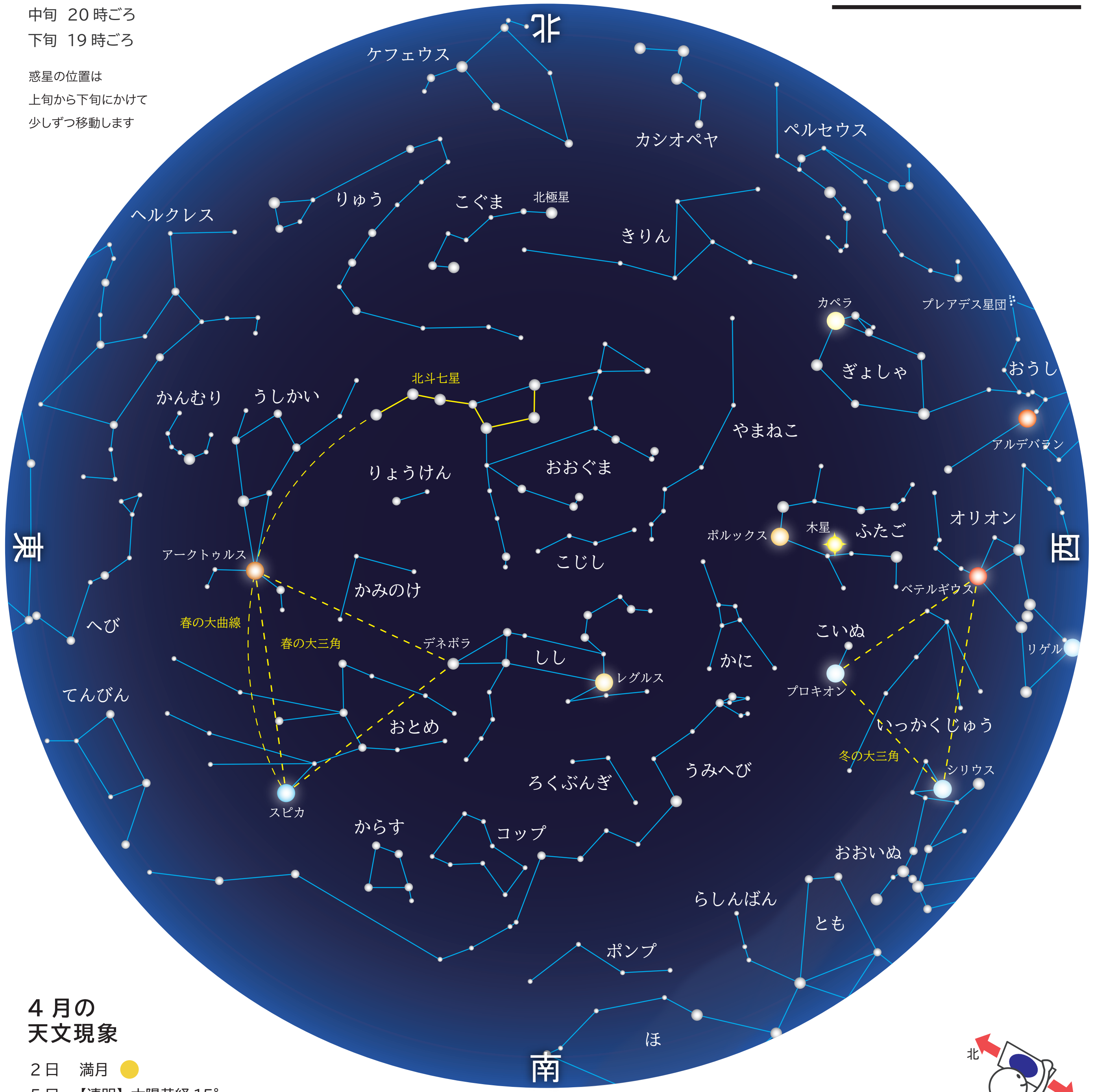
春の夜空の「アークトゥルス」「スピカ」「デネボラ」「コル・カロリ」を結んでできる大きなひし形の名前は何？

A　春の大三角
B　春のダイヤモンド
C　春の四辺形

答えは中面へ

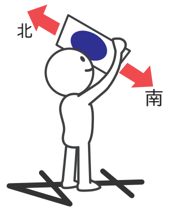
2026 年４月
上旬　21 時ごろ
中旬　20 時ごろ
下旬　19 時ごろ

惑星の位置は
上旬から下旬にかけて
少しずつ移動します



４月の天文現象

2 日　満月
5 日　【清明】太陽黄経 15°
10 日　下弦
17 日　新月
20 日　【穀雨】太陽黄経30°
24 日　上弦



上の星図は、空にかざして
実際の方角と合わせてご覧ください。

浜松の街が桜色に染まり、外歩きが楽しい季節になりましたね。４月は「卯月（うづき）」、空もようやく春の装いへ、夜空の星たちも季節の移ろいを教えてくれます。冬の寒さが和らぎ、夜の空気も穏やかになってきたこの時期に、ふと足を止めて、浜松の澄んだ夜空を見上げてリフレッシュしてみませんか？

「星空案内」2026 年４月号 制作・発行

浜松市天文台
〒430-0836　浜松市中央区福島町 242-1
TEL：053-425-9158　E-Mail：hao@city.hamamatsu.shizuoka.jp

浜松科学館 Hamamatsu Science Museum
〒430-0923　浜松市中央区北寺島町 256-3
TEL：053-454-0178　E-Mail：info@mirai-ra.jp　www.mirai-ra.jp

浜松市天文台

OK 天候不良開催　NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら

イベント情報

天文台ウェブサイトよりお申込みください。

4/4・11・18・25（土）　星空観望会

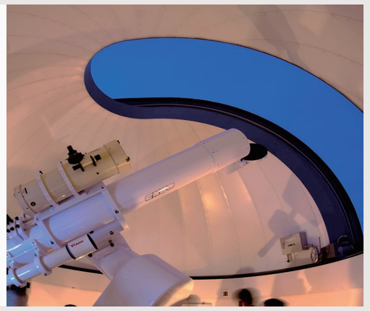
NG

宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間　19:30 ～ 21:00　会場　天文台屋上

申し込み　開催日 3 日前の水曜 13 時から受付
（30 分ごと先着 20 組）



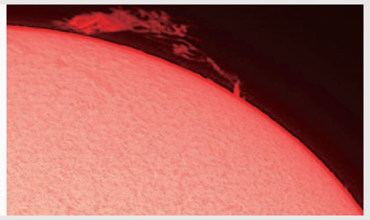
4/5（日）　太陽・昼間の星観望会

NG

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、昼間に見える天体を観望します。

時間　14:00 ～ 16:00　会場　天文台屋上

申し込み　予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



4/26（日）　星と景色の写真講座～一眼レフの撮り方教室～

OK

三脚と一眼レフカメラで、星の写った風景写真を撮影するための入門講座です。
設定から、丁寧に解説します。

時間　18:30 ～ 21:00　会場　2F 講座室／天文台屋上

申し込み　4/15（水）13 時から受付（先着 6 組）

5/1（金）　親子天文教室～春の星座～

OK

小学生親子向けの天文教室です。その日に見える星座や星座にまつわるお話をします。
その後、観望がセットになっています。雨天でも、工作をして楽しむことができます。

時間　19:00 ～ 20:30　会場　2F 講座室／天文台屋上

申し込み　4/22（水）13 時から受付（先着 20 組）

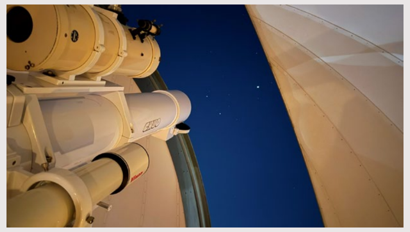
裏面のクイズの答え：正解は、B（春の代表的な４つの星を結んだ形です。春の大三角は、「アークトゥルス」「スピカ」「デネボラ」を結んだ形です。）

星空を楽しむ　開台 45 周年、浜松市天文台

文・浜松市天文台　村松大河

「浜松市天文台」は今年で開台 45 年目を迎えました。1926 年に日本初の民間公開天文台「倉敷天文台」が誕生してから、ちょうど 100 周年という記念すべき年でもあります。この歴史的な節目に、改めて星空の魅力を皆さんと分かち合えることをうれしく思います。

昨年は天候に恵まれない日もありましたが、イベントに参加された方からは「ボランティアさんが、一生懸命に望遠鏡を合わせて星を見せてくれようとした。」という温かいお言葉をいただきました。浜松市天文台のイベントでは、多くのボランティアスタッフが活躍しています。とにかく星が大好きで「この感動を伝えたい！」という情熱を持ったボランティアスタッフばかりです。土曜日に行っている「星空観望会」では、「見えた！」「きれいですね。」など楽しくおしゃべりに花を咲かせている光景は、日常の一コマです。今年度は、注目の「火星の最接近」に合わせた観望会や、流星群のイベントも計画しています。また、南の空が暗い場所にあることで、山の上で見るのとはまた一味違った星空が楽しめるのも自慢のひとつです。図鑑や画面越しでは決して味わえない、何万光年も先から届く「本物の光」をぜひ体感してください。



ボランティアスタッフとの会話も楽しみながら、45 年目の今年も一緒に夜空を見上げましょう。皆さんのご来台を心よりお待ちしています。

浜松科学館

ブログはこちら

各番組の投映時間は 4/1 以降の改編後のものを記載しています。
当日の投映時間は左の二次元コードからご確認ください。

プラネタリウム番組情報

解説員がライブ解説する「プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

プラネタリウム

天竜浜名湖鉄道 星空紀行

天浜線の車窓や沿線の星空を見に行きませんか？

平日	14:20～15:15
土日祝・4/1 ～ 5	13:00～13:55 15:40～16:35

星空マルシェ

気軽に観られる生解説のプラネタリウムです。

平日	15:40～16:20
土日祝・4/1 ～ 5	10:30～11:10

キッズプラネタリウム

きらきら☆こんやのおほしさま

みんなで一緒に星を見よう☆

土日祝・4/1 ～ 5	11:30～12:05 14:20～14:55

夜の科学館　特別投映

宇宙大爆発

宇宙の爆発現象、ドドドーーーンと公開！

4/25（土）	18:00～18:40 19:00～19:40

お知らせ

４月１日より、プラネタリウムの時間と内容が一部変更となります。

平日（4/1 ～ 5 をのぞく）

10:30 ～	学習利用団体投映（事前予約団体向け）
11:30 ～	学習利用団体投映（事前予約団体向け）
13:00 ～	学習利用団体投映（事前予約団体向け）
14:20 ～ 15:15	「天浜線星空紀行」
15:40 ～ 16:20	「星空マルシェ」

土日祝・4/1 ～ 5

10:30 ～ 11:10	「星空マルシェ」
11:30 ～ 12:05	キッズプラネタリウム
13:00 ～ 13:55	「天浜線星空紀行」
14:20 ～ 14:55	キッズプラネタリウム
15:40 ～ 16:35	「天浜線星空紀行」

天竜浜名湖鉄道と星のある景色

column

文 / 写真・浜松科学館 天文チーム 伊藤将宏
協力・天竜浜名湖鉄道株式会社

【写真 1】

クイズです！左の写真の時間帯は、朝でしょうか？夕方でしょうか？

答えは夕方です。方位が分かる目印が無いと、写真をパッと見ただけでは、朝焼けと夕焼けの違いはなかなかわかりません…。人によって意見が分かれるところです。

ではもう一問！この列車の進行方向は右でしょうか？左でしょうか？

答えは右です。これは車両のライトの色で分かります。よく見ると、車両右側正面のライトが黄色っぽく光っていますね。つまり、進行方向を照らすライトということです。基本的に、鉄道車両はヘッドライト (前照灯) は白や黄色い光、テールライト（尾灯）は赤い光となっています。一枚の写真からいろいろなことが分かりますね。

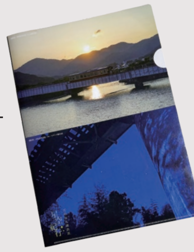
さて、マニアックな話はここまでにして、写真全体の雰囲気を見ていきましょう。

【写真 1】は三ケ日駅近くの三代橋から撮影した写真です。鉄橋を渡る列車と沈む夕日がちょうどよく上下に重なった瞬間です。太陽が沈む位置は変化するため、この光景が見られるのは 8 月下旬です。「あの列車に乗っている人はこれから家に帰るのかな。」などとぼんやり考えていると、自分もどこかへ帰りたい気持ちになってきます。

【写真 2】はフルーツパーク駅付近の高架下から撮った写真です。10 月下旬、昇り始めたオリオン座と橋桁が同じ視野に写り込むように撮影しました。オリオン座の星々の鋭い輝きと金属の骨組み、コンクリートの無機質さが秋の冷たい空気を感じさせてくれます。

【写真 2】

列車や星空のある景色は時に強い郷愁を覚えさせてくれます。自然の中を走る天浜線は、特にその要素が多くあるように思います。みなさんも身近な地域の列車旅をしてみませんか？当館のプラネタリウムでは、ドームスクリーンいっぱいに車窓風景と星空が映し出されるプログラム「天竜浜名湖鉄道 星空紀行」を投映しています。投映期間は 5 月末までです。お乗り遅れなく！



←2 つの写真を合わせたクリアファイルも
科学館ショップで販売中！

①日付
②月の出の時刻
③月の入りの時刻
④月齢　参考：国立天文台「暦計算室」

①日付	4/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②月の出	17:28	18:28	19:29	20:29	21:30	22:29	23:26	--:--	0:18	1:04
③月の入り	4:55	5:19	5:45	6:13	6:44	7:19	8:00	8:47	9:40	10:38
④月齢	13.1	14.1	15.1	16.1	17.1	18.1	19.1	20.1	21.1	22.1
		満月								下弦

①日付	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
②月の出	1:44	2:19	2:51	3:19	3:46	4:14	4:43	5:16	5:55	6:42
③月の入り	11:39	12:42	13:45	14:50	15:55	17:03	18:14	19:28	20:44	21:59
④月齢	23.1	24.1	25.1	26.1	27.1	28.1	29.1	0.6	1.6	2.6
							新月			

①日付	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
②月の出	7:39	8:43	9:53	11:04	12:13	13:18	14:20	15:21	16:20	17:20
③月の入り	23:07	--:--	0:06	0:54	1:33	2:05	2:33	2:59	3:23	3:48
④月齢	3.6	4.6	5.6	6.6	7.6	8.6	9.6	10.6	11.6	12.6
				上弦						